

日本社会分析学会ニューズレター

2017年3号 [2017年9月20日発行]

発行：日本社会分析学会事務局
〒750-8511 下関市向洋町1-1-1
梅光学院大学 桑畑研究室内
編集責任者：桑畑 洋一郎(事務局長)

Tel:083-227-1000(梅光学院大学※代表)
E-mail: sasa@jsasa.org
ホームページ: <http://jsasa.org/>
郵便振替口座:01740-0-49579
(名義)日本社会分析学会

●研究例会の報告と予定

1. 第133回例会(2017年7月29-30日、甲南大学)は盛会に終わりました。ご参集いただいた皆さまに感謝申し上げます。
2. 次回、**第134回例会**は、2017年12月16日(土)-17日(日)九州大学箱崎キャンパス(福岡県福岡市)にて開催します。詳細はプログラムとともに次号ニュースでご案内します。本紙の関連情報にご注意ください。

●第134回例会【研究報告】募集

次回例会で研究報告をご希望の方は、**報告者名、報告タイトル、報告時間を11月4日(土)必着で事務局まで**、お知らせください(郵送または電子メール)。

報告時間は以下のいずれかを選んでください(指定がなければSとします)。

S:持ち時間 30分(標準は報告20分+質疑応答10分)

L:持ち時間 60分(標準は報告30分+質疑応答30分)

また、使用予定の機器を報告申込み時にお知らせください。

●『社会分析』45号【論文】募集中

◎一般投稿論文は、**原稿〆切10月1日**で募集中です。送付先は下記です。

原稿提出期限：**2017年10月1日(日) 郵送必着**

原稿送付先：**学会事務局**(封筒に「一般投稿論文」と明記のこと)

◎特集論文については一般投稿の募集はしていません。

『社会分析』へ論文を投稿される方へ

1. 投稿に際しては、『社会分析』表紙裏の「**投稿規定(2011年改正版)**」を遵守してください。
2. 英語で書かれた論文を投稿される場合には、必ず英語を母語とする方のチェックを受けたいうで、ご投稿下さい。英文タイトルについても、同様のチェックをお願いします。
3. 日本語を母語としない執筆者が日本語で投稿する場合には、必ず日本語を母語とする方のチェックを受けたいうで、ご投稿下さい。日本語タイトルについても、同様のチェックをお願いします。
4. 内容水準以前の形式的な点が守られていない原稿については、受理を保留して差し戻すことがあります。また、差し戻しに対して投稿者から迅速かつ適切な対応がなされない場合には、受理できない場合があります。

論文審査について

投稿された論文はすべて審査者2名による論文審査にかかります。審査者は編集委員ないし会員の中から適当な方をお願いします。編集委員長・特集担当者から依頼が参りますので、よろしくお願い致します。審査と改訂はそれぞれ2回までを原則とし、年明け1月末までに編集を終えるべく、おおよそ以下のような日程で動きます。

初回審査(審査員)	4週間以内
→初回改訂(執筆者)	4週間以内
→第2回審査(審査員)	2週間以内
→第2回改訂(執筆者)	2週間以内
→最終的な掲載可否判断(編集委員会、特集担当者)	

審査者には審査論文とともに「論文審査票」をお送りしますので、それにしたがってできるだけ迅速にご協力ください。なお審査に当たっては、投稿者をエンカレッジする姿勢でお願い致します。立場や見解の違いは(アドバイスになるようなものは別として)、基本的には論文公開後の論争として展開いただき、審査においては「論文」としての完成度を高めることに主眼をおいていただきますよう、お願い致します。

〈書式統一へのご協力を〉

雑誌の書式統一のため、投稿者・査読者には以下の点で協力をお願いします。

- ◆ 投稿者は、投稿規定を遵守すること。(必ず『社会学評論スタイルガイド』をご参照ください。)
- ◆ 査読者は、投稿規定に準じた形式面のチェックも十分に行うこと。
- ◆ 投稿者は初回投稿時、原稿コピー3部とともに執筆者情報の電子ファイルを提出すること。
- ◆ 最終的には編集委員会で形式統一を行うので、最終稿の印字イメージと出来上がりイメージが異なることがある。この点をご了承いただきたいこと。

●2017年総会報告（2017年7月29日、甲南大学）

◎報告事項

(1) 庶務報告

- ・ 会員数 159 名（前年度 156 名）
（購読会員 1 名、購読機関 35 件〔前年度 35 件〕）
- ・ 活動状況
 - 例会 2016 年 7 月 30・31 日 第 131 回例会（九州大学西新プラザ）
2016 年 12 月 17・18 日 第 132 回例会（北九州市立大学）
 - 理事会 2016 年 7 月 30 日（九州大学西新プラザ）
 - ニュース 4 回発行

(2) 編集報告

- ・ 『社会分析』44 号を 2017 年 3 月 31 日発行。
特集「社会福祉と共同性(体)」：益田仁会員に企画・編集をお願いし解題および 5 本の論文を掲載。
一般投稿：研究ノート 1 本の投稿があり、審査の結果、掲載。
書評：会員著作の書評 9 本を掲載した。
- ・ 『社会分析』45 号（2018 年 3 月発行予定）について。
特集「宗教とコミュニティ」：叶堂隆三会員に企画・編集をお願いし 7 名の方に執筆を依頼。一般募集なし。
一般投稿：原稿提出期限 10 月 1 日（提出先：学会事務局）。
書評：対象書籍の推薦（自薦・他薦）、提出期限 8 月 31 日（提出先：学会事務局）。
※書評論文の直接投稿も事務局まで（10 月 1 日締め切り）

●議事

(1)下記の 新入会員（カッコ内は推薦者）を承認

津村江美（稲月正）、吉武理大（高野和良）、高木健志（高野和良）、吉田全宏（谷富夫）、西村いづみ（谷富夫）、萩沢友一（高野和良（事務局依頼））、藤井美樹（山本努）、Miserka Antonia（山本努）、巖璐（高野和良）、李草（高野和良）、金本佑太（高野和良）、李妮洵（高野和良）

(2)2016 年度（H28 年度）決算（含、監査報告）を承認【裏面・会計資料を参照】

(3)2017 年度予算案を承認【会計資料を参照】

(4)名誉会員の推薦

理事会の推薦により木下謙治会員が名誉会員に就任された。

(5)その他

- ・ 留学生会員の規定新設
別紙「日本社会分析学会改正規約（2017 年 7 月 29 日）」参照
- ・ Paypal での支払制度について
中国でも使用可能かなど、実効性があるか検証しながら継続検討（お詳しい方は事務局にご教示お願いします）。
- ・ 次回例会を九州大学（箱崎キャンパス）にお願いする。

◎会計資料

平成 28 年度 (2016 年度) 決算報告

	項目	予 算 (円)	決 算 (円)	備 考
収 入 の 部	学 会 費	750,000	635,000	会費 127 件
	購 読 料	77,700	37,800	18 件
	利子、寄付金	1,000	25	ゆうちょ銀行、福岡銀行
	本年度収入合計	828,700	672,825	
	前年度繰越金	4,109,090	4,109,090	
	総 計	4,937,790	4,781,915	
支 出 の 部	雑誌印刷費	370,000	317,520	44 号 210 部 (抜刷含む)
	編 集 費	60,000	72,435	編集担当者経費、特集謝金、書評対象書籍代
	原稿整形費	10,000	0	機関誌・名簿版下整形費
	通 信 費	90,000	95,374	ニューズレター・機関紙郵送代
	事務局費	40,000	26,248	事務局手当、振込手数料
	事務委託費	90,000	87,750	
	例会・会議費	80,000	10,662	例会開催費・理事会費
	企画事業費	30,000	0	
	予 備 費	70,000	35,000	コンソーシアム会費
	本年度支出合計	840,000	644,989	
	次年度繰越金	4,097,790	4,136,926	27,836 円黒字
	総 計	4,937,790	4,781,915	

※収入・支出とも平成 29 年 6 月 27 日締。

平成 29 年度(2017 年度)予算案

	項目	予 算 (円)	備 考
収 入 の 部	学 会 費	750,000	150 件分
	購 読 料	77,700	37 件分
	利子、その他	100	ゆうちょ・福銀利子
	本年度収入合計	827,800	
	前年度繰越金	4,136,926	
	総 計	4,964,726	
支 出 の 部	雑誌印刷費	400,000	45 号 210 部 (抜刷含む)
	編 集 費	60,000	編集担当者経費、特集謝金、書評本代
	通 信 費	90,000	ニュース・機関紙郵送代、事務通信費
	事務局費	40,000	事務経費、事務アルバイト費用
	事務委託費	90,000	ホームページ管理、名簿管理、宛名伝票印刷
	例会・会議費	80,000	例会開催費、理事会費
	企画事業費	30,000	シンポジウム経費、講演謝礼等
	予 備 費	70,000	学術会議分担金、学術会議参加費、その他
	本年度支出合計	860,000	
	次年度繰越金	4,104,726	(対昨年度 32,200 円減)
総 計	4,964,726		